

所蔵作品展Ⅰ

ヨーロッパの近代工芸とデザイン

ーアール・デコを中心にー

<<同時開催>> 所蔵作品展Ⅱ

新収蔵作品展 2006ー2007

会期：2008年5月20日(火)～7月6日(日)

会場：東京国立近代美術館工芸館

ピエール・シャロー 《書斎机、椅子》1928年頃



工芸館では近代デザイン史上重要な作品の収集と展示を心がけてきました。所蔵作品展Ⅰでは、中でも力を入れてきたアール・デコのポスターを中心に、3部構成で紹介します。

また、所蔵作品展Ⅱでは、2006年から2007年にかけて新しく収蔵した作品から、三浦小平二の陶磁器を中心に、約35点を展示します。

お問い合わせ 広報担当

e-mail cg-pr@momat.go.jp



ルネ・ビュトー 《裸婦図壺》1920-25年頃



磯矢阿伎良 《バイオリン・ケース》1931年

展覧会構成

I-1 アール・ヌーヴォーからアール・デコへ アルフォンス・ミュシャ、ルネ・ラリックなどアール・ヌーヴォー様式の作品を展覧し、さらに宮川香山、富本憲吉、橋口五葉の作品などで日本での展開も追います。

みどころ！ 1

アルフォンス・ミュシャ《サラ・ベルナール》1896年

タイトルのサラ・ベルナールは当時活躍した女優。ミュシャ（1860～1939）はアール・ヌーヴォーの中でも人気の高い画家の一人です。後半生は祖国チェコの民族運動に共鳴し、作風も大きく変化しますが、本作品の流れるような髪、官能的な表情は一世を風靡したアール・ヌーヴォー時代のミュシャの女性像の特徴をよく伝えています。



I-2 アール・デコの時代 I アール・デコの精華 1910年から30年代にかけて、フランスを中心に世界的に流行した装飾様式であるアール・デコ。A.M.カッサンドル、ポール・コランのポスターをはじめ、華やかな都市生活にいろいろな作品により、今なお私たちを引き付けてやまないアール・デコの魅力をお楽しみください。

ルネ・ラリック《カームスコット ロンシャン》1929年

みどころ！ 2

ルネ・ラリック（1860～1945）は、アール・ヌーヴォーとアール・デコ、二つの時代を生きた作家です。さらに言えばラリックはそれぞれの時代でまったく異なる作家像をつくりあげました。アール・ヌーヴォーの



時代には、宝飾工芸家／ジュエリー作家として、またアール・デコの時代にはガラス作家として活躍したのです。二つの時代のラリック作品を見比べ、その鮮やかな転身ぶりをご覧ください。



ルネ・ラリック《ブローチ 翼のある風の精》1898年頃

ジャン・ピュイフォルカ《ティー・セット》1925年

みどころ！ 3



本作品は、金銀細工師ピュイフォルカ（1897～1945）による銀製ティー・セット。ピュイフォルカは、ル・コルビュジエなどとともに活動し、機能的で洗練された独特の高級感あるデザインを数多く手がけました。

I-3 アール・デコの時代 II 日本への影響 関東大震災からの復興期、アール・デコは、新しい時代にふさわしい作品を模索していた若い芸術家たちに受け入れられました。高村豊周、磯矢阿伎良たちによる工芸、杉浦非水のポスターや、長谷川潔、織田一磨による都市風景により、アール・デコの影響の跡をたどります。

II 新収蔵作品 2006年から2007年にかけて、比較的まとまって所蔵された三浦小平二の陶磁器を中心に、ガラス、染織、人形など約35点を紹介します。

みどころ！ 4

三浦 小平二《青磁豆彩大皿 シルクロード》1985年

三浦小平二（1933～2006）は新潟県に生まれ、東京藝術大学で陶磁器研究会をつくり、加藤土師萌などから、陶芸を学びます。卒業後は世界各地を旅しながら、制作を続け、1996年に紫綬褒章を受章、1997年には重要無形文化財「青磁」の保持者に認定されました。2007年にまとめて当館の所蔵となった作品のうちの1点です。



タイトル		所蔵作品展 Ⅰヨーロッパの近代工芸とデザイン –アール・デコを中心に– Ⅱ新収蔵作品展 2006-2007
		Museum Collection Exhibition Ⅰ European Modern Crafts and Design: Centering on Art Deco Ⅱ New Acquisitions 2006-2007
会期		2008 年 5 月 20 日 (火) ～7 月 6 日 (日)
開館時間		午前 10 時～午後 5 時 * 入館は閉館 30 分前まで
休館日		毎週月曜日
主催		東京国立近代美術館
会場 (アクセス)	東京国立近代美術館工芸館 〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 1-1 Crafts Gallery, The National Museum of Modern Art, Tokyo	
	東京メトロ東西線「竹橋駅」1b 出口 徒歩 8 分 東京メトロ東西線・半蔵門線・都営新宿線「九段下駅」2 番出口 徒歩 12 分	
観覧料	一般 200 (100) 円 大学生 70 (40) 円 * 高校生および 18 歳未満、65 歳以上の方、MOMAT パスポート、キャンパスメンバーズ、障害者の方と付添者 1 名は無料となります。 * () 内は 20 名以上の団体料金。いずれも消費税込。 * 割引・無料には学生証、年齢のわかるもの、障害者手帳等の提示が必要です。	
	美術館 (徒歩 5 分) で開催中の各展覧会チケットでもご覧いただけます(観覧当日に限り)。 会期、開館時間等にご注意ください。 「カルロ・ザウリ展」(企画展ギャラリー) 6 月 17 日～8 月 3 日 「ペーター・メルクリと青木淳」展 (ギャラリー4) 6 月 3 日～8 月 3 日 「所蔵作品展 近代日本の美術」(所蔵品ギャラリー) 6 月 3 日～8 月 3 日	
	無料観覧日	
お問合せ先		03-5777-8600 (ハローダイヤル) または http://www.momat.go.jp/ (ホームページ)
イベント	ギャラリートーク	6 月 8 日 (日) 午後 2 時～ 北村仁美 (当館研究員) 『工芸館の収集活動と新収蔵作品』 6 月 29 日 (日) 午後 2 時～ 三上美和 (当館客員研究員) 『所蔵作品展Ⅰヨーロッパの近代工芸とデザイン』
	タッチ&トーク	ボランティアスタッフによるガイド。参考作品や制作工程等を手にとる <さわってみようコーナー> と、会場でのトークとでご案内します。 毎週水・土曜日 午後 2 時～ →タッチ&トークの詳細は、 http://www.momat.go.jp/CG/touch_talk/index.html
	*いずれのイベントも、参加無料(ただし、展覧会チケットが必要です)。事前の申込不要。	
プレゼント		展覧会をご紹介いただける場合には、読者プレゼント用にチケットをご用意します。
人間国宝・巨匠コーナー		国内外の工芸やデザインを代表する作家の作品を常時紹介するコーナーです。 (テーマ等の詳細は、決まり次第 HP でお知らせします)

年 月 日 ()

FAX : 03-3211-7783 (工芸課) 広報担当行>>

写真データ 「No.」に ○ をつけてご送信ください。

No.	作家	作品	(Title)	所蔵	制作年
表紙 右上	ピエール・シャロー	書斎机、椅子	Desk and Chair	東京国立近代美術館蔵	1928 年頃
表紙 左	ルネ・ビュトー	裸婦図壺	Jar, nude motif		1920-25 年頃
表紙 右下	磯矢阿伎良	バイオリン・ケース	Violin case		1931 年
P.2-1	アルフォンス・ミュシャ	サラ・ベルナール	Sarah Bernardt		1896 年
P.2-2	ジャン・ピュイフォルカ	ティー・セット	Tea set		1925 年
P.2-3 (左)	ルネ・ラリック	カーマスコット ロン シャン	Car mascot, "Longchanmps"		1929 年
P.2-3 (右)	ルネ・ラリック	ブローチ 翼のある 風の精	Brooch, Winged Sylph		1898 年頃
P.2-4	三浦小平二	青磁豆彩大皿 シ ルクロード	Large plate with design of "The Silk Road", celadon with doucai decoration		1985 年

※JPG データ以外もご用意できますので、必要な場合はお問合せください。

※展覧会広報にのみご使用ください。著作権保護のため、他の目的でのご使用は固くお断りいたします。

※掲載見本を広報担当へご寄贈くださいましたら幸いです。

読者プレゼント用チケット 希望枚数 _____

ご担当者名 _____ e-mail _____

貴社名 _____

出版物・放送番組・サイト名 _____
(http://www. _____)

掲載予定号・発行日／放送・UP 日時 _____

PHONE () _____ FAX () _____